

## 23 茅 勸 助 の 碑

伝承地：篠井町1887

話者：13



(茅勸助の碑)

日光街道（国道119）の石那田を船生方面に曲った下篠井の畑の中に風化した石塔が建っている。

この石塔は、無実の罪で殺された茅勸助の供養塔である。

茅勸助は、日光東照宮の金看板を盗んだ疑いで役人に追われて、この地まで逃げて来たが遂に捕われ直ちに首を切られてしまった。

しかし、後日、真犯人が見つかり勸助の無実が明らかになった。

ところが、勸助が切られた場所である小さな沢は、勸助の血で赤く染まってしまい、以後清く澄むことがなかった。

そこで、東照宮は、勸助の霊を鎮めるため供養塔を建立したということである。

